

世の中に溢れている様々な暮らしの在り方。機能的であったり、趣味が活かされていたり、デザインを楽しんだり、自然や文化が深く関わっていたり：そこにはその人の個性や人となりが写しとられ、自由な形となつて表現されています。

私たちがフォーカスを当てているのは、自然や文化を感じることで暮らしている。

大自然を訪れた時のような気持ち良さや感動を生活の一部として切り取り、文化の素晴らしさと掛け合わせ、日々の暮らしへと落とし込んでゆく。

自然の中で素の自分に戻り、友人、知人、家族と居心地のいい時間を過ごす。そんな心の持ち方。

季節や時間、環境、気候、生きていくからこそ人と同じ様に、自然にもそれぞれに合わせたたくさんの表情がある。まるで喜怒哀楽を表しているかのようで、それも自然の美しさの一つ。良い意味でランダムだからこそ、それが個性となりいつまでも人

を飽きさせません。

自然の恵みから生まれたアイテムには、一つとして同じモノは存在しない。そこに自然の命が吹き込まれているからこそ、使うごとに愛着が増し自分だけのお気に入りアイテムになつていく。だから自然って

SAIN ESSAY 自然の中で シンプルな幸せを

浦上 日章
Urakami Nissho

魅力的なんだと思います。

そんな自然を身近に感じる暮らしを続けていると、学ぶことがあります。

それは、自然の持つ風合いや特徴に寄り添うことの大切さ。

うまく表現するのは難しいのですが、ランダムに描かれた塗り壁の質感、木の持つ自然なヒビや節のあたたかみ、蝋燭や焚き火の炎の様に、不規則だけど心地の良い自然のゆらぎを生み、人も生きていくからこそ、そこに命の気配を感じて、どこか安心感を覚えるような、そんな気持ちにさせてくれます。

ありのままを受け入れて、そして楽しむこと。思いがけないたくさんの発見や魅力に出会うことができるのもまた、自然ならではの奥深さなのではないでしょうか。

住む人の家族構成、ライフスタイル、色々な要素が時間を掛けて空間に溶け込み、人も家も一緒に物語を刻んでいく。

自然と調和した暮らしは、自然との共同作業で生まれる。

何気ない日常の中で、心がほっこりとするちょっとした幸せを感じる瞬間が、あなたの元へたくさん訪れますように。

